

持続可能な公共交通
「地域の足」を守ります

人口減少社会の中で、利用者が減少する地域公共交通の運営環境は、厳しさを増しています。しかし、日々の通学や通院などで公共交通を主に利用している高校生や高齢者には、これからも安心して生活するために「地域の足」の存在が欠かせません。また、買い物など、誰もが日常的に利用する移動手段として、その必要性は広く共有されています。

市では、バスの利用環境を改善し、「誰でも気軽に」おでかけできる社会の実現を目指しています。アンケートによる市民の意見を基に、4月1日から「大崎市役所前」と「地域交流センター（あすも）前」にバス停を新設し、交通系ICカード対応のキャッシュレス決済システムを導入しました。新設したバス停とキャッシュレス決済システムについて紹介します。

☎ まちづくり推進課公共交通担当
023-550096



▲市ウェブサイト
(各路線の運行ダイヤなど)

バス停新設・移設! ~広がる移動の選択肢~

「大崎市役所前」と「地域交流センター（あすも）前」にバス停を新設しました。快適なバス待合環境を提供するとともに、施設へのアクセス向上と公共交通の利便性向上という相乗効果を見込んでいます。
※築館古川線では大崎市役所前、地域交流センター（あすも）前での乗降はできませんので、注意してください。



バス待合環境に、無線LANや学習スペースの整備を望む声が多く、すでに多くの生徒に利用されている2つの公共施設の近くに新設しました。



買い物にさらに便利になるよう、バス停「中里南」をヨークベニマル古川中里店の近くに移設しました。



■市民バス料金表

	5kmまで	7.5kmまで	10kmまで	15kmまで	15km以上
宮沢真山線・鳴子線・高倉線・三本木大衡線・大貫線・松山鹿島台線	100円	200円	300円	400円	500円
築館古川線	一律200円		中心市街地循環便・シャトルバス	1回 100円	1日フリー乗車券 200円

※小学生以下、障がい者（手帳提示）、「大崎市市民バス等割引乗車証」を提示した人は、半額です。

交通系ICカード対応! ~現金要らずのラクラク乗車~

公共交通のDX化推進として、大崎市市民バスなど、株式会社ミヤコーバスが運行する車両にicsca・Suica・PASMOなどの交通系ICカード対応のキャッシュレス決済システムが導入されました。
※市では、大崎市市民バスへのシステム導入経費に対し、国の物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用して支援しています。



乗車時にICカードリーダーにタッチします



降車時に運転席隣のICカードリーダーにタッチします



利用者の声

通学に市民バスを利用する
保原 悠人 さん(左)
阿部 虎流 さん(右)

テスト期間は市役所で勉強することがあるので、バス停の新設はとてうれしいです。
今年からバスの利用が増える予定だったので、ICカードの利用を考えています。

写真提供:株式会社ミヤコーバス (一部編集)

